

畑からのメッセージ

新鮮組通信 FROM おきたま

◆今日の野菜情報 (2月8日)

品目	量目	農薬状況
金井正 ^{おの} のじゃがいも	500g	無
石橋明 ^{おの} の人参	約500g	低
寺島一朗 ^{おの} の大根	1本	無
福田好子 ^{おの} のタマネギ	1束	無
安部隆之 ^{おの} の ^{仙台} 雪菜	1束	無
近野久美子 ^{おの} の春菊	1束	無
古山泰彦 ^{おの} のなめこ	1袋	無
高島小学校のぎんなん	1袋	無
月山パイロットチームの ^{赤かぶ} 漬け	1袋	無
井上誠 ^{おの} のいもかん	4ヶ	低

◆今日の畑情報

皆さんこんにちは。突然ですが『直江兼統^{かたつぐ}』御存知ですか?
上杉景勝の家臣でありながら、太閤秀吉より三十万石を賜った男、
上杉鷹山が師と仰いだ戦国武将です。

先日 童門冬二^{おの}の小説『直江兼統 北の王国』を読みました。
それなら後は、『四季農戒書』という農業指導書を作り、全村に
配ったのだそうです。その一部を少し紹介したいと思います。

“五月に入りては、吉日を選び、田を植ゆべし。男は苗代に
おりたち、めでたき草歌(五歌)を詠べし。女房は顔を化わい、
口紅をつけ、衣装をあらため、笠をかぶり、しりをかかき、黒き身にも、
白き脚布をし、田におり立、早苗をうゆべし。歌にはいかにもしられたる男女夫婦のかたらい夢を作り
うたうべし。是みな山々の神を祝い申す祝言なり。しからは又昼食には、座頭のあたま程なる食を拵えならべて
喰べし。……………大豆を田のあせにうゆべし。” 父に聞けば、父が子供の頃、田のあせには
大豆が植えられていたそうです。それにしても活気に満ちあふれた田植えの情景が目に浮かぶようで、また同時に

▼来週の予定 (2/15)

じゃがいも、玉ねぎ、白菜、さつまいも、ほうれん草、わらび漬 他

▼再来週の予定 (2/22)

玉ねぎ、人参、ほうれん草、仙台雪菜、セリ、ちんげん菜 他

今日の別注品

青大豆きな粉

1袋 300円

無農薬無化学肥料栽培で育てた
青大豆100%のきな粉です。

豆本来の持つきれいなうぐいす色、香り味を
お楽しみ下さい。

→ 高島小学校の校長先生と用務員さんが
拾い集めたぎんなんです。この春、学校の
花段を彩る苗代となるそう。

丁寧なレシビ付きです。

渡部しげお曰く

「ぎんなんは味の素効果がある」

白菜の味噌汁でもなんにでも、少し
ぎんなんを加えるだけでうま味が増すそう。
どうぞお試しあれ!!

もう少しあってもいいなと思われる方は
電話又はFAXで御連絡下さい。

高島小学校のぎんなん

1袋 150円

我が家の今年う米づくりに
思いをめぐらします。